

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2023年3月8日
明治大学の所属学部・研究科	商 (学部/学科/研究科/専攻等)
留学(渡航)した時の学年	4 年生
帰国年月日	2022年2月24日
明治大学卒業予定年月	2023年3月
留学先大学について	
留学先国	マレーシア
留学先大学	マレーシア科学大学 (日本語名) Universiti Sains Malaysia(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語 / 英語
留学期間	2022年10月~2023年2月
留学先大学で在籍した学年	-年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): (現地言語での名称): <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例:1 学期/4 月上旬~7 月下旬、 2 学期/9 月中旬~2 月上旬	1 学期:3 月下旬~8 月上旬 2 学期:10 月上旬~2 月下旬 3 学期: 4 学期:
学生数	約 3 万
創立年	1969 年

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (リンギット)	日本円	備考
授業料	-	-円	
宿舍費	2500rm	75000 円	
食費	5000rm	150000 円	
図書費	100rm	3000 円	図書館利用費。
学用品費	10rm	300 円	
携帯・インターネット費	250rm	7500 円	
現地交通費	500rm	15000 円	友達と遊びに出掛ける際に Grab を使っていました。(☑大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	-	-円	
被服費	300rm	9000 円	
医療費	-	-円	
保険費	2105rm	63150 円	形態:海外旅行保険(半年分)
渡航旅費	2600rm	78000 円	格安航空を利用しました。
ビザ申請費	400rm	12000 円	
雑費	500rm	15000 円	
その他	7000rm	210000 円	旅行費
その他	2500rm	75000 円	交際費
合計	23765rm	712950 円	1rm=30 円で計算してます。

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地:成田国際空港 目的地:ベトナム国際空港 経由地:チャンギ国際空港	
復路 出発地:ベトナム国際空港 目的地:成田国際空港 経由地:クアラルンプール国際空港	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金:	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: Scoot 料金:35000 復路 航空会社: Batik Air 料金:40000 ∴ 合計:75000	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: Sky Scanner) <input type="checkbox"/> その他()	

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

 学生寮(寮の名前:) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

 個室 相部屋(同居人数 3 人)

3)共有部分

 バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

友人の紹介

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

基本的に交換留学生は寮ではなくアパートに住む人が多いです。寮には温かいシャワーやエアコンがないこと、相部屋であることが理由なのですが、こうした環境に耐えられる自信がない場合、最初からアパートに住むという決断をして、部屋探しを留学前からしておく選択肢が多くなります。

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをされましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)

 なし
 あり (治療を受けた場所:)2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等) なし
 あり (問題の内容や相談した人等:)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

授業は留学に行くと自身の専門の勉強に集中してしまい、留学先で英語学習をすることを忘れてしまう方が多い印象ですが、英語を伸ばすための勉強を継続していると英語力がより効果的につくと思います貴重品は身に付けて席を離れるなど最低限のことを気を付けました。ペナン島はとても治安が良くトラブルにあったという話は聞いたことがありません。ただ、貴重品を身に付けて席を離れるなど最低限のことは気を付けておいた方がいいと思います。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

SIM カードによるネット利用をしていましたが、日本のものよりは電波が弱いです。そのため、テレビ電話、WEB 会議などは満足に行うことができませんでした。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本で外国でもキャッシングを行えるクレジットカード(WISE)を作って、現地の ATM からお金を調達しました。お金を引き出す工程としては、日本の口座から WISE の口座に振り込んだ後に WISE のカードで引き出すという形でした。他のカードよりもレートは良かったと思います。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

日本語で書かれた本
(日本語で書かれた本は現地でとても高価なので日本から持参していった方が良いと思います。)

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
9 単位		<input type="checkbox"/> 単位 <input checked="" type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:4 年後期での留学は制度上、単位認定されないから。)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
ACADEMIC ENGLISH		学問英語
科目設置学部・研究科	School Of Language	
履修期間	1 学期間	
単位数	2	
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 60/120 分がそれぞれ 1 回	
担当教授	Ezleena Mustafa Kamal, Nurtasneem Ibrahim	
授業内容	4 技能を学ぶ	
試験・課題など	4 技能それぞれで小テスト、期末試験としてリディングのテストがある。	
感想を自由記入	文法に関する講義が中心となっていたのですが、その文法のレベルはそこまで高いものではなかったため物足りなさを感じることもあった。ただ、授業の中で他の生徒とのコミュニケーションを求められるようなセッションはいくつかあり、ただの講義形式の授業と比較すると勉強になったように思う。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
SCIENTIFIC AND MEDICAL ENGLISH		科学と医学の英語	
科目設置学部・研究科	School Of Language		
履修期間	1 学期間		
単位数	2		
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 60/120 分がそれぞれ 1 回		
担当教授	CIK ARBAEYAH HASSAN		
授業内容	ビジネスの場における英語の使い方		
試験・課題など	4 技能それぞれで小テスト、期末試験としてリディングのテストがある。		
感想を自由記入	Academic English と比べてより実践的な場面を想定しての英語学習だったため、とても面白かった。例えば、Speaking のテストでは就活を想定しての英語面接などが行われ、ライティングでは Email Writing などがテーマになっていた。こうした授業を通して、生きた英語を学べたのはとても勉強になった。		
履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
SUSTAINABILITY: ISSUES, CHALLENGES AND PROSPECTS		SDGs における問題と課題、そして展望	
科目設置学部・研究科	特定の学部の授業ではない。		
履修期間	1 学期間		
単位数	2		
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回		
担当教授	PUAN AZREEN FARA BTE ARZAHAR		
授業内容	SDGs に関するプレゼンやフィールドワーク		
試験・課題など	プレゼンと小テストのみ		
感想を自由記入	SDGs を実践的に学べとても興味深い授業だったと思う。マレーシア科学大学は世界的に見て、環境問題に力を入れている大学であるということで受講したのだが、フィールドワークなど特徴的なセッションもありとても面白かった。ただ、講義形式の授業のセッションだと、300 人を超える講義室での講義になるため声が届かなかったり、多少、うるさかったりで集中環境ではなかったように思う。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
BUSINESS COMMUNICATION	ビジネスコミュニケーション
科目設置学部・研究科	School Of Management
履修期間	1 学期間
単位数	3
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回
担当教授	Daisy Kee Mui Hung
授業内容	ビジネスの場における作法
試験・課題など	プレゼン
感想を自由記入	大人数の講義だったため、生徒同士でのコミュニケーションも少なくあまり面白くなかった。テーマ自体はとても役に立つものだったが、講義のスタイルが残念なものであったため、総じて面白くなかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
INTERNATIONAL HUMAN RESOURCE MANAGEMENT	国際的な人事管理
科目設置学部・研究科	School Of Management
履修期間	1 学期間
単位数	3
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	両方(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 60/120 分がそれぞれ 1 回
担当教授	Ainul Mohsein Abdul Mohsin
授業内容	世界的に人材をどのように管理しているのかについて
試験・課題など	プレゼン、期末試験
感想を自由記入	人材管理の分野を新しく学ぶことができたという観点で、とても面白かった。海外において海外の視点で人材管理について学ぶことができたため、働くということに対する考え方の違いなど多様な差異を学ぶことができて、とても興味深い授業であった。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記2以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など
ウェブサイト:Open Work, One Career など 書籍:絶対内定、業界地図など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
総合コンサル 多様なプロジェクトに関われることや勤務条件などが魅力的だったからです。コンサル業界はPJ型で働くため、多種多様な業界・会社に関わることができるのですが、飽き性の私にとってこの働き方は魅力でした。また、勤務条件に関しても、労働時間は長いものの、年収が高く東京勤務であることを考慮するととてもいい環境であると感じました。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
4年次で留学に行くという決断をするのであれば、就職活動を完全に終わらしてから留学するとよいと思います。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。
(例:語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	TOEICの勉強&TOEIC受験
	4月～7月	IELTSの勉強
	8月～9月	IELTSの勉強
	10月～12月	IELTS受験&留学のための選考と留学先の決定
留学開始年	1月～3月	留学決定者との交流会
	4月～7月	英会話の勉強&ビザ申請
	8月～9月	航空券購入&ワクチン3回目接種
	10月～12月	留学開始&中間試験
留学/帰国年	1月～3月	期末試験&留学から帰国
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

【留学先を選んだ理由】

この留学先を選んだ理由は、経済的に留学という経験を積みたかったからです。マレーシア科学大学のあるマレーシアは日本から距離が近く、物価も安いので、航空券や生活費などを抑えることができます。また公用語として英語も使われており、多くの学生の英語を習得したいという目的にも沿うと思います。(ただし、英語ネイティブではないため発音が多少良くなかったり、使う表現が基本的なものだったりします。)

留学はお金が掛かるものというイメージがありますが、マレーシア及びこの大学であれば経済的に恵まれない人でも行くことができますと思います。(夜の街を女性一人が歩いているところを見かけることも多々あり、治安の観点でもとてもお勧めです。)

【留学生活全般について】

平日は授業を受け、土日は友達と遊ぶという生活をしていました。土日を活用してほぼ全てのペナン島の有名な観光地に行きました。この他、空いている時間には本を読んだり、英語のシャドーイングをしたりすることで自己研鑽をするように心掛けていました。(留学に行くことと自身の専門の勉強に集中してしまい、留学先で英語学習をすることを忘れてしまう方が多い印象ですが、英語を伸ばすための勉強を継続していると英語力をより向上させられると思います。) また、長期休みには友達とマレーシア内を旅行したり、隣国のタイに旅行に行ったりと忘れられない思い出も作ることができました。

【留学で得られることについて】

外国人の友達と喋ることで、多様な価値観に触れることができます。例えば、日本は無信教ですが、マレーシアではイスラム教徒が多く、イスラム教徒の考え方に触れることができます。また、タフネスさも身に着けることができます。多方面における慣れないシステム、何を尋ねるにも多言語を喋らなくてはならない環境に身を置くことはメンタルがとても鍛えられます。私は学生生活で時間がある時にしかできないことをしたいと思い留学を決断したのですが、前述の通りの経験を積むことができ本当に行って良かったと思っています。

【留学を躊躇している人へのアドバイス】

経済的な理由で留学を諦めようとしている人はマレーシア及び科学大学という選択肢もあることを念頭にコストやメリットを再考してみるといいと思います!また、その他の理由で留学を躊躇している人も、時間のある学生にしかできない経験ができるので必ず挑戦してみるといいと思います。応援してます!